



# 語る



2025年  
**2**月  
No.926

■発行所 ■  
日本福音ルーテル教会事務局広報室  
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1  
電話 03-3260-8631

■ウェブサイト ■ <https://jelc.or.jp/>

■E-mail ■ [jelc@jelc.or.jp](mailto:jelc@jelc.or.jp)

■発行人 ■ 竹田大地 koho@jelc.or.jp

■印刷人 ■ 精文堂印刷株式会社

■定価 ■ 1部 40円 (郵税を含む)

■振替口座 ■ 00190-7-71734

## 説教 「神の召し」

日本福音ルーテル保谷教会牧師・神学校専任講師・チャプレン 平岡仁子

「わたしはあなたを母の胎内に造る前からあなたを知っていた。」(エレミヤ書1:5)  
「この人はヨセフの子ではないか。」(ルカによる福音書4:22)



イエス様は、「自分がお  
育ちになったナザレという  
町に生まれ安息日に会堂  
で朗読をされた後、人々に  
言われました。「この聖書  
の言葉は、今日、あなたが  
たが耳にしたとき、実現し  
た」人々はイエス様の口か  
ら出る恵み深い言葉に驚  
き、「しかし「この人はヨセフ  
の子ではないか。」と言いま  
した。人々はヨセフの子で  
あるイエスを知っている  
と。ナザレの町で、私たちの  
間で、暮らしていた人、私  
たちは、あの人を家族を、  
生まれ育ちの全てを知っ  
ていると。そして、町の人々  
はイエス様に疑いを抱き  
ました。人々は安息日に会

堂において、神の言葉を聞  
きました。しかも、恵み深  
い御言葉として人々は聞  
くことができたのです。た  
しかし、にもかかわらず、  
人々はイエス様に尊敬で  
はなく、敵意を抱いたとい  
うのです。ガリラヤで尊敬  
を受けたイエス様に對し  
てナザレの人々は反対に  
イエス様を崖から突き落  
とそうとしました。「この  
人はヨセフの子ではない  
か。」そして、この御言葉は  
私たちが行う日曜日の集  
まり(礼拝)の意味と実践  
についてのイメージを与え  
ます。しかも、警告として  
私たちに与えられるので  
す。私たちの集まりがどの

ようなものであるかを自  
己吟味するために、私たち  
全ては神から召され、御許  
に招かれました。聖書にお  
いてイエス様は常に、権力  
や富を求める者たち、他  
者を軽視する人々に、は  
なく、徴税人や罪人たち  
を助けたイエス様に對し  
て「アウトサイダー」、神の御  
前に謙虚な人々に目を向  
け、彼らに「自分のもとへ  
引き寄せられました。私た  
ちの教会は、そして、その  
交わりはそのようである  
でしようか。仕えるのでは  
なく、誰かの立上ること  
を求めてはいないでしよ  
うか。互いに相手に敬意を  
もって接しているでしよ  
うか。競い合っているでし  
ょうか。」

しに臨んだ。『わたしはあ  
なたを母の胎内に造る前  
からあなたを知っていた。  
母の胎から生まれる前に  
わたしはあなたを聖別し  
諸国民の預言者として立  
てた』。ここで言われる  
「言葉が臨む」とは、エレ  
ミヤの心の中で神の言葉が  
「生きて働くものになる」  
と云うことを意味しま  
す。すなわち、神が語ると  
いうことは神の業が起こ  
る、出来事として起こる  
ことを示すのです。神は存  
在の最初から「あなたを  
知っていた」と言われます。  
聖書の「知る」とは信頼を  
おいた親密な交わり、また  
契約を意味し、人の性格  
や本質、考え方まで推察  
でき、いろいろな状況下で  
の振舞いさえ知っている  
関係を示します。そして  
青年エレミヤを選んだの  
は主であると言われるの  
です。エレミヤは自分の力  
で、神の御業を成し遂げ  
ることなど、到底できるは  
ずはないからです。神は言  
われます。「彼らを恐れる  
な。わたしがあなたと共に  
いて、必ず救い出す」。神は  
エレミヤの苦しみの同伴

者であり、遣わし、語らせ  
るのは神ご自身であるの  
です。だから、私に従って来  
なさいと。エレミヤは神の  
言葉を繰り返し受け取り、  
従ってゆきました。が、  
心の葛藤を訴える神との  
対話はエレミヤの生涯を  
貫きました。しかし、その  
苦悶の度にエレミヤが立  
ち返った原点がまさに、こ  
の御言葉だったのです。「わ  
たしはあなたを母の胎内  
に造る前からあなたを  
知っていた」。そして、この  
聖句は1996年の「神  
学校の夕べ」で私が説教し  
たテキストでした。あれか  
ら29年、聖書は常に「警告  
と招き」へと私を導き続け  
てきました。そして、これ  
からも、私たち全てを導  
くことではないでしょうか。



最後の晩餐 (1685年) シモン・ウシャコフ

預言者エレミヤは神に  
召された時、「こう応えま  
した。「ああ、わが主なる神  
よ。わたしは語る言葉を  
知りません。わたしは若者  
にすぎませんから。」エレ  
ミヤは自分がただの人間で  
あることを知っていました。  
神様の御用のために、  
何かができるようなもの  
ではないと神に訴えたの  
でした。しかし、聖書は語  
ります。「主の言葉がわた

「これら全てをうまく成  
し遂げようとする時、あ  
なたは失敗すると心得な  
さい。両手を差し出し、乞  
い求める者となりなさい  
― 礼拝において神の恵み  
を受け取るために。」  
(Gordon W. Lathrop 著  
『The Pastor: a spirituality』  
より(私訳))

「だれでも持っている人は  
更に与えられて豊かにな  
るが、持っていない人は  
持っているものまでも取  
り上げられる。」(マタイに  
よる福音書25:29)



伊藤早奈  
⑤9「与えられているから」

あのことを思い出すと  
あのことが気がにな  
りだすし、心配になっ  
てしまふ。そのようなこと  
が時々あります。もしかし  
たら誰かが持っていてしま  
うかも。見つかったらどう  
しよう。そのようなことを  
考えているとどきどき怖  
くなつて、何もできなくな  
りどころも行けなくなつ  
てしまします。  
「おかしいな。なんでだ  
ろう。」ふと考えます。  
あれ？「守る」と「隠す」  
は違うんだ。何か大切な  
ものや大切なことがある  
とそれを守ろうとして隠  
すことがあるけど、守るこ  
とは隠すことではないみ  
たいだな。なんとなくその  
ようなことを考えます。  
大切なものや、大切なこ  
とを守ろうとする時、人  
は大胆にもなるし自由  
にもなる時があります。でも  
自分にとって大切なもの

や、大切なことを隠してし  
まうと、隠しているもの  
や、ことが見つからないよ  
うにだけ必死になります。  
とらわれてしまうのです。  
与えられている大切な  
ものや大切なことは隠さ  
ないで守ると良いのかも  
しれません。私が与えられ  
ている大切なものやこと  
を私は守っていく。そこ  
には自由や希望が満ち溢れ  
ています。しかし隠すこと  
ろには不安や恐怖があ  
り、隠しているものをその  
ままにしておくことに必  
死になり自由どころか人  
を縛りつけます。  
私たちが与えられてい  
る大切なものに「命」があ  
ります。他の人と同じよ  
うにあなたの「命」も大切  
です。「命」は一人一人が  
自由に守るものです。隠さ  
ないであなたらしく自由  
に大胆に育てるためにあ  
なたに与えられた大切な  
ものです。



リレーコラム

「全国の教会・施設から」②1



日本福音ルーテル 保谷教会

古財武久 (日本福音ルーテル 保谷教会代議員)

保谷教会は、2025年教会誕生から72年目を迎えています。私たちの教会を訪れた皆さまは「温かい教会」です。ねとそ

の印象をお話して下さい。高年齢者の多い教会ですが、年齢を問わず明るく楽しい教会です。それは教会のルーツにあるのかも知れません。

教会の誕生は、東京老人ホームに入居されている方々を中心に行われていた、日曜日の礼拝からと思われま。その時は、

礼拝堂も牧師館もなく東京老人ホームの建物を借用しての出発でした。少しずつ地域の方々との交わりに加わり、その輪が広がっていく中で礼拝堂と牧師館が与えられ、1971年に自給教会になりました。

私たちの教会は礼拝が大切にされ重視され、礼拝に関わる奉仕のほか諸集会の交わりの中で、信徒の信仰が養われ育まれています。老人ホームとの関わりも深く、主日礼拝後には出席することが困難な父を牧師と共に訪問し、その日の聖餐を分かち合う「信徒訪問グループ」があります。クリスマスにはキヤロリングを行い、入居者の皆さんと一緒に主のご降誕をお祝いします。

また、地域に生きる教会としても活動しております。明治学院中学バンド これからの教会活動を

改 宣 室

小泉基 (日本福音ルーテル札幌 教会牧師・宣教室長)

高山修 (日本福音ルーテル 箱崎教会信徒)

小泉 箱崎教会にはメディアチームがあると伺いました。どのような働きを担ってこられたのですか？

高山 コロナ禍で礼拝に集えなくなった時に牧師がYouTube配信を始めましたが、礼拝が再開すると牧師の負担が大きくなつてしまいました。また礼拝のメッセージを個人情報を含めて発信したいという牧師の希望もあつ

てメディアチームがスタートしました。いつもはZoom配信の準備、礼拝動画のYouTube限定公開アップロード、公式LINEで緊急連絡ができるような体制づくりなども行ってきました。

小泉 チームとして役割を担う意義は、どんなところでしょうか？

高山 私もパソコンに関係する仕事をしていすが特に詳しいというわけではありません。私は主日礼拝以外の、テゼや幼稚園関係の企画動画の録音や編集を担当しています。がそれも必要があつて楽しんでやっているうちに少しずつ身につけてきた気がします。他にSNSが得意な方がインスタグラムを担当しますし、年配の方にも分かりやすいような説

明会の開催や、操作のためのマニュアル作りなど、それぞれの賜物を生かして自由に活動しています。

小泉 取り組みのなかで、喜びや難しさを感じるのはどんな時ですか？

高山 礼拝は集つて参加できるのが一番です。でも、私自身が体調不良の時にリモートで参加したことがあり、こんな時こそ必要だと実感しました。活動を通して皆さんに喜んでもらえることがうれしいです。引越された方や病床の方、外出が難しい方と礼拝後に交流ができることも、みんなの喜びにつながっています。一方、年配の方が遠慮して使いたる方と聞くと、参加を促さざるを得ないことがあります。できる限り「分からなかつたら何回



和田牧師とチームの面々。和田牧師の右側が高山氏

短期信徒宣教教師(J3)・ステファン・ライリー氏自己紹介

ステファン・ライリー

(短期信徒宣教教師・ルーテル学院中学・高専 蕙高等学校英語助手)

考えますと、信徒の約半数が後期高齢者という状況ですから、不安が顔をのぞかせます。しかし、今年の年間主題聖句「心を騒がせるな。神を信じなさい。そして、わたしを信じなさい。」(ヨハネによる福音書14:1)のみ言葉が、今の私たちの教会員一

人一人へ力強く語られ、次世代へのメッセージとしても語られているように思われます。

熊本での生活はとても楽しいです。生徒と一緒に英会話の授業をするのも楽しいし、ルーテル学院の教員ハンドボールチームに入部し、先生方と一緒に大会に出たり、私が通っている神水教会の教会員に茶道を教えていただいたり、いろいろな方々のおかげで思い出深い滞在になっています。

最後に、一番の特徴は身長2メートルあることです。どうぞ私と、私に日々関わるルーテル学院にいる生徒をお祈りの内に覚えていただければ幸いです。

私はアメリカのアイダホ州で生まれ、800人しかいない村で、日本好きの家庭に育ちました。大学時代、短期留学で札幌に行き、札幌教会新札幌礼拝堂に通っている間に小泉基牧師、岡田薫牧師との出会いでJ3のことで知り、卒業後、22歳の若輩者で去年の7月に来日し、今日に至ります。



# 世界の教会の声

浅野直樹 Sr.

（日本福音ルーテル市ヶ谷教会牧師  
世界宣教主事）

## カトリックからルーテルへ チリルーテル教会 監督アルフロ氏に聞く

ルーテル教会に つながったきっかけは何ですか？

私の家族はカトリック教会でしたのでその信仰のもと育てられました。子どもの頃から信仰に導かれたことを両親に感謝しています。ですから神様を信じる心はずっとありました。また私はドンボスコが創立したサレジオ会のシスターだった2人の叔母にもお世話になりました。サレジオ会は学校教育に熱心な修道会です。その影響も大きかったです。14歳の時、たまたま母の枕元にあつた聖書を手に取って読んでみたのです。初めて自分で聖書を読みました。するとイエスのイメージがくつきりと浮かび上がり自分が変わったのです。それまでの自分の夢と目標が変わったのです。人生にはもつと大きな意義と目的があるのだと考えようになりました。

ルーター派の信仰との出会いはいつですか。

18歳までカトリックになじんだのですが、そうでないキリスト教信仰にも触れてみたいと思うようになり、インターネットで検索したり電話帳で教会を探したところ選択肢がたくさんあり過ぎて、これにしようとして決めてダイヤルしたのがチリのルーテル教会だったのです。

青年の集まりは土曜日でしたが、私は待つていられずその週の水曜日にすぐ教会へ行きました。扉が少しだけ開いていたので思い切って入ってみました。2人の青年が迎えてくれて、青年集會に招かれたのです。彼らは私がしゃべれないドイツ語で会話していたのです。若い女性が私のために通訳してくれました。それから2年が経過して、私も会の運営に携わるようになりました。以後スペイン語の人たちも招くようになり青年会は成長しました。

この経験が生きてルーテル教会の礼拝になじめました。大学卒業後は神学へと導かれ、最初はパプテストの神学校へ、次に長老派へと進みましたが、LWFから奨学金をいただくことができたので最終的にはブラジルで7年間神学を学びました。妻との出会いはそのときで、長女がブラジルで生まれ、チリに戻って子どもが2人と生まれ、32歳になって牧会を始めました。

「御教会のことを教えてください。」  
教会数が全部で10、牧師数も10人、信徒数が2千6百人という小さな教会です。礼拝にはもつと集まるのですが、正式に信徒ではない人もいます。ドイツ文化をルーツにもち、プロイセン典例を使つてスペイン語とドイツ語で礼拝します。約4分の1がドイツ語残りがスペイン語礼拝に来ます。

1846年にドイツ人がチリに来たとき、当時の政府はカトリックでない礼拝を禁止していました。19世紀以上もの間、教会はそんな状態でした。1982年ごろになり、ようやくチリでもルーテル教会の礼拝ができるようになりました。それ以来私たちはスペイン語宣教に力をいれています。中心は信徒の皆さんです。信徒の奉仕が教会を支え伝道しています。

「チリにはピノチエト独裁政権の傷跡があり、ですが、教会は和解にむけてどんな働きをしていますか。」  
対話の場を設けて、一致と和解に向けての取り組みに協力しています。軍事政権の影響でチリは今でも社会に分断があります。教会もそうです。信徒が支持する政党はいろいろです。教会では政治の話はせず、みなさんキリストにつながっています。軍事政権の影響は今でも残つていて、国全体が今も癒やしに向けて日々と言えます。もう一つのルーテル教会と連帯しながらこの問題に取り組んでいます。困難な道のりですが、一致に向けての志は強いです。時間はかかっても、対話集會を通じて分かち合える部分を見いだしていきたいです。

## 典礼委員会・典礼策定進捗報告

松本義宣

（日本ルーテル東京教会板橋  
教牧師・典礼委員会委員長）

2025年6月の全国常  
議員会で、式文委員会と讚  
美歌委員会を改組し、典礼  
委員会が発足しました。そ  
れまでこの二つが担ってきた  
働きを統合し、「礼拝（典  
礼）」全般を担当し、細かい  
作業はそれぞれ作業部会で  
担うという位置付けです。

旧式文委員会は、日本  
ルーテル教団との共同作業  
で、17年「宗教改革五百年」  
を目指して改訂式文策定に  
あたり、式文ハンドブック、主  
日礼拝式文・御言葉の礼拝  
を19年に刊行、試用に付し  
ました。20年には、聖餐の「特  
別序詞（その日の序詞）」の  
追加分、「灰の水曜日礼拝」、  
受難週のための「主のエルサ  
レム入場」「聖木曜日」「聖金  
曜日」「主の復活の夜」とい  
つた特別の式文、諸式として一  
連の葬儀関係、結婚式等の  
改定案、新たに策定した諸  
活動就任の祈り、「人生の  
折々のための祝福の祈り」  
「癒しの祈り」等を全国総会  
資料として配布公開しま  
した。ただ、折からのコロナ  
禍のため、各教会での紹介、  
試用実践にはなかなか至つ  
ていないのが課題です。皆さ  
まからのフィードバックをい  
ただき改訂策定を進めま  
す。「聖餐設置辞」の別の版の  
改訂と、諸式については、「洗  
礼式」と新たに「洗礼までの  
準備過程」を教会共同体で  
見守り、支える祈りを加味  
したものを準備中で、また、  
今後の必要が考えられる  
「教会改組閉鎖の祈り」等  
の策定に取り組んでいます。

旧讚美歌委員会は、やは  
り「宗教改革五百年」を目  
指し、「教会讚美歌増補版」  
（約100曲程度の追加編  
纂）を、四ルーテル諸派で取  
組みましたが、諸般の事情  
で遅れ、2021年に「教会  
讚美歌増補分冊1」として  
刊行し、ひとまず役割を終  
えました（「うるうる」24年  
2月号拙稿参照）。翻訳そ  
他準備した楽曲は残され  
ましたが、刊行のための諸条  
件（著作権交渉等）が、とて  
も片手間でできていない作業  
で、今後の歌集制作の大課  
題です。典礼委員会とつな  
ぎ、最初の作業は、現行の「教会  
讚美歌印刷版」が劣化し、  
近く増刷が不可能となる  
事態を回避するための「デ  
ジタル版」作成です。従来  
版と併用可能なものを目指  
しつつも、今後の大改訂  
や他教派との共有も加味  
した改訂版下作成をしてお  
り、なんとか25年度には作  
業を終える予定です。しか  
し、本来は、刊行50年を経た  
「教会讚美歌大改訂新編  
さん」が一番の課題です。  
が、もつと大きな課題は、各  
部作業を担う人材の急募  
で、全国教師会等との連携  
が考えられないかと願つて  
います。

## メコン・ミッシェン・フォーラム報告

森田哲史

（日本福音ルーテル  
大森教会牧師）

2024年11月18日、  
21日にタイのバンコクで行  
われたメコン・ミッシェン・  
フォーラム（以下、MMF）  
に参加いたしました。

MMFは、メコン川流域  
の各国（タイ、ベトナム、カ  
ンボジア、ミャンマー、ラオ  
ス）のルーテル教会および  
関連諸施設と、それらを  
支援する世界中の教会が一  
堂に集り、現地の宣教や

支援についての情報を共  
有し、さらなる発展を目  
指す会議体です。昨年から  
は神学的なテーマを決  
め、グループワークにも重  
点が置かれるようになり  
ました。

前半では、「リーダー  
シップ」をテーマにグルー  
プワークが行われました。  
初めにエフェソの信徒への  
手紙4章1節〜16節から  
リーダーシップについて考  
えました。ある人はリー  
ダーシップについて上から  
の物言いはなく、聖書に

おいてイエスが250以上  
の質問を通して弟子たち  
を導いたように、対話や  
考えることが大切だと話  
します。また、各国のリー  
ダーシップのあり方につ  
いて共有され、ミャンマー  
では軍事政権下において、ど  
のように預言者的リー  
ダーシップが発揮される  
べきか課題が与えられま  
した。また、カンボジアでは  
「女性は台所から出るこ  
とができない」という古い  
ことわざが示すように、  
女性がリーダーシップを  
発揮することが難しい現  
状を分かち合いました。ま

た各国での牧師の働き方  
について共通するところ  
があり、牧師は特別であ  
るといふ期待ゆえに過労  
となり、メンタルに悪影響  
を及ぼしていることが課  
題としてあげられ、これは  
日本も同じ課題を共有し  
ていると言及せられました。  
後半ではMMFの総会  
があり、この1年  
間のMMFの活動  
報告、予算の承認、審議事項の協  
議などが行われま  
した。

JELCでは2  
023年の全国  
総会において、アジア宣  
教中でもカンボジア宣教  
を行っていくことが決議  
されました。参加されたカ  
ンボジアの牧師からは、日  
本からの農業に関わる支  
援の要望を聞くことがで  
きました。カンボジア宣教  
のためにお祈りいただい  
れば幸いです。



カンボジアルーテル教会  
Thuy Joseph Keo牧師(右)と森田氏

### 北海道特別教区修養会報告

小泉基  
（日本福音ルーテル  
札幌教区牧師）

ひとりが日常の中でも大切に生きてきた、わたしたちの身の丈に合った小さなディアコニアに焦点をあてた学びを行うことができました。小副川先生のお話はたとえが多くて耳に優しく、特にボスザルマツキーの話はみんなの心に残りました。

2024年10月13日と14日、北海道特別教区は5年ぶりの修養会を、北海道クリスチャンセンタールで開催しました。コロナ禍をはさんで久しぶりの修養会に、全道から64名の教区の仲間が集まり、学びと交わりの時をたのしみました。今回の修養会で特徴的であったことをいくつかおわわちしたいと思います。

①準備にエネルギーを注ぎ過ぎない  
スタッフに過重な奉仕を強いることがないように、準備会はわずかに2回Googleスプレッドシートを用いた情報共有などで準備のために集まる回数を減らして、スタッフ自身もまた開催したいと思えるような省エネ準備を実現しました。

②大きなディアコニアでなく小さなディアコニア  
この2年間、教区はディアコニアをテーマに据えてきました。そこで今回は九州学院から小副川幸孝先生をお招きし、他教区が教区をあげて取り組み、成果を上げてきたような大きなディアコニアではなく、わたしたちひとり

ひとりが日常の中でも大切に生きてきた、わたしたちの身の丈に合った小さなディアコニアに焦点をあてた学びを行うことができました。小副川先生のお話はたとえが多くて耳に優しく、特にボスザルマツキーの話はみんなの心に残りました。

5年ぶりの修養会で、少し世代が入れ替わりつつあるとも感じられましたが、コロナ下の教区オンライン聖研によって学びを共にした仲間とはじめて対面でお会いしたこと、喜びに満ちた教区修養会となりました。



### 宮本新日本ルーテル神学校校長就任式報告

石居基実  
（ルーテル学院大学学長）

すでに本誌(2024年11月号)で、宮本新神学校校長の就任が、あいさつをいただきましたが、2024年12月10日にルーテル学院チャペルにて同氏の校長就任式が行われました。司式は平岡仁子神学校チャプレン、説教は石居基実が担当いたしました。また江本真理NRC議長、滝田浩之JELC副議長が両教会を代表し就任接手を執行してくださいました。

印刷を行った改訂版を、12月下旬に発送させていただきます。なお、刷り直したものは、冊子の背表紙下に、ASTARISK(\*)のマークが入っております。また、不良本の回収の必要はありません。

このたびは読者の皆さまに多大なる迷惑をおかけいたしますこと、重ねておわび申し上げます。よりよい冊子づくりのため、なお一層の努力をいたしますので、今後ともよろしく願います。

【該当ページ】  
2月23日(日)後半ページ  
2月26日(水)、2月27日(木)、3月2日(日)2ページ、3月5日(水)、3月6日(木)、3月9日(日)前半ページの合計8ページ  
誤植を修正し、新たに

引退まで1年を残す23年度いつぱいで校長をお退きになるという思いでいらしたところを、学院の最も困難な時期となつたこともあって先生にはご無理をお願いし、退任を半年遅らせていただいたことでした。この場をお借りして、立山先生には心から感謝申し上げます。

宮本新校長は、2013年度から教会兼務で神学校専任講師に就任され、また18年度からは大学兼務として校内住宅に移り、本格的に神学校での責任を引き受けてこられました。専門は伝道学なのですが、教員体制の事情から、それぞれの時に教養学、倫理学はもとより、

歴史神学、信長学、日本キリスト教史やエキメニズム論と本当に幅広い科目を担当いただけてきました。また、寮のあった頃には寮務委員長、以来スピンリチュアルアドバイザーとしても神学生に寄り添ってくださっています。

宮本先生ご自身も報告されていましたが、時代の節目の中、神学校はカリキュラムの在り方のみならず、牧師養成のあり方に関して抜本的改革を必要としています。JELC、NRK両教会の神学教育委員会を軸として教会との新しい協働体制において、牧師養成、神学研究、現任教育、研修の仕組みを構築すべく、先生ご自身

すでに中心的な働きを担ってくださっています。DX(デジタルトランスフォーメーション)によって人間の生き方が大きく変わってきた新しい時代に、内容も方法も新しい神学教育を模索する歩みが始まっています。宮本校長とその取り組みのため、どうかお祈りくださいますようお願いいたします。



### 教職授任接手式開催のお知らせ

李明生  
（日本福音ルーテルむさしの  
教区牧師・事務局長）

2025年3月2日(日)19時から21時に日本福音ルーテル教会宣教百年記念東京会堂(日本福音ルーテル東京教会)を会場に教職授任接手式を開催予定です。

受按予定者は大和友子神学生(出身教会・大岡山教会の1名です)。詳細が決まりましたら改めて各教会にお知らせいたしますが、どうぞご予定くださいますようお願い申し上げます。

2025年度 日本福音ルーテル教会

# 教職授任接手式

「父がわたしをお遣わしなさいました。わたしもみなの中を歩む時、聖霊をばらまかせたい。」  
(ヨハネによる福音書 16:7-11)

**日時** 2025年3月2日(日) 午後7時~午後9時

**会場** 日本福音ルーテル教会 宣教百年記念東京会堂 (日本福音ルーテル東京教会)

受按予定者(出身教会)  
**大和友子(大岡山教会)**

Japan Evangelical Lutheran Church  
日本福音ルーテル教会